

山国川水系河川整備計画策定に係る  
ご意見について

平成 22 年 3 月

国土交通省 九州地方整備局

## 1. 意見聴取方法

平成18年9月1日に国土交通大臣により「山国川水系河川整備基本方針」が策定され、これを受けて九州地方整備局では「山国川水系河川整備計画【国管理区間】」の策定に向け鋭意作業を実施しています。

河川整備計画の策定にあたって、平成20年12月11日に「山国川水系河川整備計画（原案）【国管理区間】」を公表し、「①学識者懇談会」により学識者のご意見を伺うとともに、流域住民の方々のご意見を伺うために、「②山国川実践者会議」、「③住民懇談会」、「④整備計画（原案）概要版によるアンケート等」を用いて流域の皆様方に意見を伺い、数多くのご意見をいただきました。

誠に有り難うございました。

### <意見聴取方法>

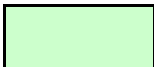
- ① 山国川学識者懇談会・・・平成20年12月18日、平成21年6月19日実施
  - ・懇談会開催数：2回
  - ・懇談会委員数：6名
- ② 山国川実践者会議・・・平成20年12月17日実施
  - ・会議開催数：1回
  - ・会議委員数：9名
- ③ 住民懇談会（3回実施）
  - ・上毛町（上毛町役場）・・・平成21年1月15日実施
  - ・中津市（耶馬溪支所）・・・平成21年1月19日実施
  - ・中津市（中津市役所）・・・平成21年1月22日実施
- ④ アンケートBOX、メール、ハガキによる意見聴取
  - 実施期間：平成20年12月～平成21年1月30日（約2ヶ月間）
  - ・住民アンケート：回収数=90通

## 2. 意見聴取結果

意見聴取結果の概要は次頁以降に示すとおりです。

いただいた御意見については、河川整備計画（案）の策定に反映させていただきました。

# 山国川水系河川整備計画(原案) に関する意見聴取結果

: 整備計画(案)へ反映した意見

第2回山国川学識者懇談会 実施日:平成20年12月18日(木)

NO	分類	意見(質問)	回答
1-1	環境・景観	オヤニラミを捕獲して持っていき者がいるということについての対策として、外来種というのはピントが違うのではないかと。希少種であるからとらないでくださいという表現をすると、かえって知られるというおそれもあるが、とられないような対策をしてほしい。	本文41頁に、オヤニラミ等の希少種について配慮していくことを表現しています。 【整備計画(案) 48頁参照】
1-2	環境・景観	観光について、特質ある生物に関する説明が観光資料の中にはない。中津を訪ねてみえたり耶馬溪を訪ねてみえた方に生物的特質を理解していただくような内容をいれてほしい。	整備計画本文は観光資料と目的が異なりますので、ご指摘の内容についての記載は考えておりません。
1-3	環境・景観	干潟のほうも含めた、環境、生物のことを考えていく必要があるのではないかと。	38頁、41頁に動植物の生息・生育・繁殖環境の場を保全していくことを記載しています。
1-4	環境・景観	干潟とか、生物に応じた表現が必要という意見なので、事務局で検討して組み入れていただきたい。	【整備計画(案) 38、41頁参照】
1-5	環境・景観	子供たちに対する環境学習を前面に出していくことが非常に必要ではないかと。31頁に課題として表現を入れていただくほうが良い。	64頁、山国川の川づくりの進め方で、「地域の方々やNPO、地元市町等の関係機関と協力して水辺体験や環境学習、水生生物調査など将来の地域を担う子供たちへの環境学習を積極的に支援し、住民が山国川の環境や治水利水についての関心を高めるための活動を行います」と記載しています。 【整備計画(案) 64頁参照】
1-6	利水・利活用	22頁に、水質で、BODの値の経年変化があるが、「新谷橋より下流」で、平成5年から9年にかけて非常に高くなっているが、H15年には非常に少なくなっている。この大きな変化の原因は何か。	BODについては、派川である中津川の水量に影響を受けている可能性があります。今後も観測を続けモニタリングしていきます。 【整備計画(案) 22頁参照】
1-7	利水・利活用	32頁の利水のテーマは、「水の恵みと生命育む流れを守り伝える」ということだが、これでいいのかなと感じた。21頁に、農業用水、都市用水、漁業、汚濁とか、具体的に書いてあるが、農水産、工業をこの利水というテーマでとらえているのか。テーマと実施の文言の組み合わせが合っていないような感じを受けた。	「水の恵みと生命育む流れを守り伝える」の「水の恵み」について、21頁の農業用水、都市用水が水の恵みと考えています。利水のテーマは、川の水を監視し、山国川の水量と水質を保っていくことを表現しており、このことが、人や動植物の生活につながると考えます。 【整備計画(案) 21、33頁参照】
1-8	利水・利活用	水の恵みとして、農業用水、都市用水、飲み水、魚類等の生物が生息するための水の確保というところを「水の恵み」ということで表現されていると思う。基本的には川の水を利用して生活につながるという意味合いだと思うが、事務局のほうで少し表現を検討していただきたい。どうしてもこの表現が地域の河川の水の利用になじむということであれば、検討した後またご説明いただきたい。	
1-9	利水・利活用	10頁に間違いがある。例えば、縄文時代、奈良時代はあるが、鎌倉時代や室町時代は全くない。各時代ごとに山国川及び支流の水系では歴史的な遺産が出ているので、そこは書いてほしい。	(10頁について)指摘を元に修正します。 【整備計画(案) 10頁参照】
1-10	利水・利活用	11頁の、「京築地域などに新規の水が開発され」というのはおかしい。「水資源」という表現にしたらどうか。	(11頁について)指摘を元に修正します。 【整備計画(案) 11頁参照】

第2回山国川学識者懇談会 実施日：平成20年12月18日(木)

NO	分類	意見(質問)	回答
1-11	利水・利活用	10頁の荒瀬井路見取図は、文章と関係がないように思う。	10頁の荒瀬井路見取図は、利水事業の内容や大きさ表現するために必要と考えますので、そのまま記載を考えています。 【整備計画(案) 10頁参照】
1-12	利水・利活用	28頁の山国川の図について、突発的に穴ヶ葉山古墳が出てくる。これは国指定の文化財、史跡であるが、これを入れるのであれば、古代の唐原山城跡あるいは中津市の下毛正倉跡というようなものを入れて、下に「山国川流域における主な史跡・観光・レクリエーション施設」としたほうがよい。もしくは、「穴ヶ葉山古墳」を削除し、「山国川流域における観光・レクリエーション施設」としたほうがよい。	指摘を元に、山国川流域内にある史跡を追加します。 【整備計画(案) 29頁参照】
1-13	利水・利活用	28頁の図で青の洞門の下に自然水族館と書かれているが、これは市がやっているのか。	施設管理者は中津市になります。 【整備計画(案) 29頁参照】
1-14	環境・景観	外来性のもの(例えばユリカモメ)が来て、自然水族館の餌をつついてくる、そしてふんを垂れるというようなことで、若干の問題点があるように前に聞いたことがある。天然のものに餌をやるという考え方が、問題がありそうだというような話は聞いている。改善を必要とするような点である。	環境面については、在来の物を守り、外来種への対策などを考えたいと思っておりません。しかしその規制等に関しては一概には判断出来ない問題でありますので、その部分は法律や基準などに照らし合わせながら進めて行くことになると思われます。
1-15	利水・利活用	30頁の青地区河川公園が自然水族館に当たる。河川公園という言葉に統一したほうが良い。	“自然水族館”がこの場所の名称ということなので、“自然水族館”という表現に修正します。 【整備計画(案) 31頁参照】
1-16	環境・景観	27頁は、名勝耶馬溪が正式名称である。「耶馬溪」ではなくて、「国の名勝耶馬溪」と表現するべきである。	(27頁について)指摘を元に修正します。 【整備計画(案) 27頁参照】
1-17	環境・景観	27頁に、「山国川沿いの名勝耶馬溪の自然景観や史跡、文化財等は、大分県を代表するものと言えるでしょう」と入れたほうが良い。	(27頁について)指摘を元に修正します。 【整備計画(案) 27頁参照】
1-18	治水・防災	13頁の下から2行目のところで、「この結果は」という文言がつながりにくいため、ここに読点を入れないと読みづらい。主語と述語が離れているので、少し手を入れていただきたい。	(13頁について)指摘を元に文章を見直して修正します。 【整備計画(案) 13頁参照】
1-19	利水・利活用 環境・景観	降雨量について触れていないが、川と降雨量、あるいは水の中の生き物と降雨量というのは関係が深いのではないかと。どこかに入れていただきたい。今年、大分あたりは水量が減り、水生生物は減に傾いたと思う。濁水調整についても若干触れていただくと良い。	下唐原地点で概ね2m <sup>3</sup> /sの水量の維持を目標としており、魚類等の生息環境の維持も含まれています。 なお、降雨量と水生生物の関係については、水生生物調査と科学的に分析する水質調査の結果は年に1回発表しており、その際に降雨データも発表しています。 なお、降水量については3頁に、利水の現状と課題については18頁に記述しています。 【整備計画(案) 4、18、37頁参照】

第2回山国川学識者懇談会 実施日:平成20年12月18日(木)

NO	分類	意見(質問)	回答
1-20	環境・景観	18頁の利水の現状と課題に、関係する生物の環境を保全する上で適切な維持用水が確保される必要があるとか、山国川の特長として、すぐに流出してしまうというふうな特性もあるかと思うので、河川の生物の生息環境を維持するという点についても課題として取り組む必要があると思う。 実施の項目の中にはそのような内容は組み込まれているが。	(18頁について)指摘を元に修正します。 【整備計画(案) 18頁参照】
1-21	利水・利活用	65頁の(3)に、水質事故訓練とありますが、水質事故という表現は良いのか。	人為的な原因で油が川の中に流れ込むことなどを水質事故と呼んでいます。その際には吸着マットやオイルフェンスを川の中に張って、下流に流れないように対策します。なお、本文62頁の写真は、水質事故対応の訓練の様子です。 【整備計画(案) 62頁参照】
1-22	環境・景観	39頁の(2)について、「観光資源(景観)」という表現は、「景観」だけで良いのではないか。	歴史と文化も観光資源に含まれるので、「名勝耶馬溪の歴史・文化・景観等の観光資源の保全」という表現に修正します。 【整備計画(案) 38頁参照】
1-23	治水・防災	46頁の、「施行」の字が違うのではないか。	「施行」は、現場の工事やソフト的な対策すべてを含んでいるので、この字を使用しています。 【整備計画(案) 44頁参照】
1-24	環境・景観	施行箇所については、すべて名勝耶馬溪に入っているのか、それに配慮した計画が必要である。文化部局への相談が重要になってくると思う。	名称耶馬溪や国定公園にかかる箇所については工事施工にあたり協議を行っています。また、本文45頁に記載しているように、事務所内において景観に配慮した施工を行うための委員会等を設置しており、景観等に配慮した施工を行っていく予定です。 【整備計画(案) 45頁参照】
1-25	治水・防災	61頁に防災意識の共有、それから62頁に危機管理の項が記載されているが、新山国大橋の左岸側の防災用ヘリポートがどのように活用されるのかが見えない。福岡県、大分県、それから自治体、市、町で県を超えて利用するといったことを記載したほうが良い。	ヘリポートについては、国土交通省のみならず警察や消防など防災に関する関係機関に活用して頂くことになります。本文への記述についてはヘリポートの活用という観点から17頁と59頁に記載します。 【整備計画(案) 17、59頁参照】
1-26	その他	文章の間に空間がある。レイアウトを修正したほうが良い。	最終的にはきれいなレイアウトに修正します。
1-27	その他	資料の中に山国川の平面図は随所に出てくるが、縦断図や横断図がない。関連資料でつけるのは他の河川では余り例がないのか。縦断勾配等の川の特長が数値だけではなかなか見えないと感じた。	縦断図については、2頁に記載します。横断図については、詳細な施行内容が決まっていないため記載は考えていません。 【整備計画(案) 2頁参照】

第2回山国川学識者懇談会 実施日：平成20年12月18日(木)

NO	分類	意見(質問)	回答
1-28	環境・景観	一般論として、川の水質と水量と形において、形の面で随分変わってきているという思いがある。浮石がなくなってきた。持ち上げられるような石が砂礫の中に埋まってしまったような形である。瀬、淵、ワンドがやや軟化している(差がなくなってきた)。山国川に限れば、柿坂からサイクリングロード等を伝っておりてきたときに、竹の林が水面に侵出し、河床を固めているところがみられた。何か手を打たなければ水生生物にとってはマイナスではないかと感じた。	具体的な目標などはありませんが、川の中をに手を加えることは必要最小限に留めて、既存の河川環境に配慮しつつ、現在の環境を守ること、大きな環境への悪影響は避けたいと考えています。
1-29	環境・景観	今から10年前ごろは、河川の会議に出ますと、常に自然型河川工法を基本にして工事をするというお話を、それが実施されていると思うが、今回の整備に関して、このような、過去の実績を生かしてやるのか、それは無視してやるのか、お聞きしたい。自然型工法でやったところが現在どうなっているのか。そういう見直しは現在やられているのか。いろいろ整備等のイメージの図があるが、それも何年かたったら忘れてしまうのではないかと心配している。	多自然河川改修は平成初期頃から実施され、その実績も増えてきており、その方針は現在も変わりません。
1-30	環境・景観	基本的にはこれまでの多自然川づくりをずっと続けられていると思うので、これまでの取り組みを踏まえながら今後の整備に生かされていくのではないかと考えている。多自然川づくりに関するモニタリングというも、全国で取り組まれている内容についての調査をされて、それを逐次反映されていくようになっていっていると思うので、今後、このような方向で整備されるのではないかと感じている。	
1-31	その他	山国川学習館は国交省の施設なのか？	
1-32	その他	学習館は決して無駄遣いではなく非常に重要なことだと思う。	山国川学習館は国土交通省山国川河川事務所の施設の一部を開放している施設です。平成21年以降は、名称を「資料室」とし、利用形態を変更します。
1-33	治水・防災	60頁に、洪水時に携帯電話から情報を取り出せるという記述があるが、一般の方はこういう利用を余り知らないのではないか。こういうことをできるだけ地域の方に有効に利用してもらうということが必要である。地域のほうで説明されるときも、ぜひこのようなことを多く紹介していただきたい。	平成21年以降は、名称を「資料室」とし、事務所の職員で対応することとなりますが、同じような利用がなされるよう工夫しながら、NPO、地域の人と知恵を絞りながら頑張っ
1-34	治水・防災	インターネットによる情報発信は有効である。	防災情報の提供については、当事務所のHPのみならず、国土交通省や県・市などでも行われており、今後とも機会ある度にこのことを伝えていきます。 【整備計画(案) 57頁参照】
1-35	環境・景観	山移川においてネコヤナギの植栽をされているという話ですが、魚つき林は陰影を落とすという効果、あるいは陸上から流出する枯れ葉の成分でも、そのほか金属性の成分でも、そういうものが水生生物をふやす上で非常に有効だというような話が海のほうから聞こえてきている。川のほうはどうかという疑問を常に持っているが、調べようがない。	ネコヤナギの植栽は、地元中津市のコンサルが開発しています。試験的なフィールドがなかったので場を提供しています。現在は追跡調査等を行っている途中段階です。



第2回山国川学識者懇談会 実施日:平成20年12月18日(木)

NO	分類	意見(質問)	回答
1-36	環境・景観	山国川の流れ込む干潟はどこが管理しているのか。	山国川の河川の堤防までが国土交通省管理で、海岸堤防等は事務所の管理ではありません。
1-37	環境・景観	整備計画の中で、干潟のことはうたえないのか。	河川の河口部における記述は38頁、41頁に記載している。海域については整備計画で記述することは考えていない。 【整備計画(案) 38、41頁参照】
1-38	治水・防災	住民側はどの情報を留意すれば良いか、何に気をつければ良いかがわからないのではないか。住民にどう伝えるかという確認をして、地域に応じた実情を具体的に書いてはどうか?「防災情報については、関係機関と連携して確立します」というような文を入れて欲しい。	わかりやすい河川情報を提供していくこと、情報が正しく伝わっているかを把握し改善を図っていくこと、NPO等の住民団体と連携して防災知識の普及に努めることを、40頁、56頁に記載します。 【整備計画(案) 40、56頁参照】
1-39	利水・利活用	河川占用許可について、整備計画では「河川占用」をどうしていくのが見えない。占用という方法が見えないが、住民側が河川空間に入ってくるということが出来ないか?県や市町村など管理者向けに「包括占用」していくとか、何かしらのビジョンが見えない。現場の利用を促すしくみづくりが出来ないか?	山国川は河川占用に積極的に取り組んでいくような河川空間が少ないため、あえて整備計画で記述することは考えていません。ただし、今後、必要がある場合には河川占用について検討します。
1-40	利水・利活用	高水敷については、教育の場やスポーツの場として中津市がまとめて管理することは出来ないのか?流域内に、河川管理を行うような人材を抱えていけるようにならないか?このような仕組みを一般化させるようなことを、本文に書くことが出来ないか?整備計画本文に、「住民のニーズに合わせていく」的なコメントを入れたほうが良いのではないか。	山国川は河川占用に積極的に取り組んでいくような河川空間が少ないため、あえて整備計画で記述することは考えていません。住民のニーズに合わせていくことについては、38頁に、河川利用へのニーズを踏まえて、河川空間の提供に努めていくことを記載しています。さらに、47頁に、水辺空間利用へのニーズに対しては、関係機関と連携し対応していくことを記載します。 【整備計画(案) 38、47頁参照】

第3回山国川学識者懇談会 実施日:平成21年6月19日(金)

NO	分類	意見(質問)	回答
1-41	環境・景観	4頁の記述で、中津城、青の洞門、競秀峰が下流域、青の洞門が中流域なので、上流域の魔林峡を入れたほうがよい。	指摘を元に、魔林峡を追加します。 【整備計画(案) 4頁参照】
1-42	利水・利活用	10頁に中世と江戸時代をつなぐ一番重要な黒田如水の中津城の築城を記載すべきである。また、荒瀬井路見取図に加え、井路の絵図を入れたほうがよい。	指摘を元に、黒田如水の中津城築城に関する記述と荒瀬井堰の絵図を追加します。 【整備計画(案) 10、11頁参照】
1-43	環境・景観	27頁の「中津祇園祭り」は山国川とあまり関係がないので、鶴市の写真を入れたほうがよい。	指摘を元に、鶴市の写真を追加します。ただし、中津祇園祭りは山国川流域で有名な祭りであるため、削除しないこととします。 【整備計画(案) 27、28頁参照】
1-44	環境・景観	28頁の史跡・観光・レクリエーション施設について、津民川を利用した中世の大分県を代表する中世山城である長岩城の写真を記載したほうがよい。	指摘を元に、長岩城跡の写真を追加します。 【整備計画(案) 29頁参照】
1-45	環境・景観	土木遺産についても記載したほうが良い。	山国川の土木遺産として有名な石橋(耶馬溪橋、馬溪橋、羅漢寺橋)について記載されている27頁(現状と課題)に、石橋の写真を追加します。
1-46	環境・景観	27頁の土木遺産や水路に関連する施設については、現状と課題の中でも記載してほしい。	【整備計画(案) 27頁参照】
1-47	環境・景観	44頁に余白があるので、土木遺産の写真を入れれば良い。	石橋の写真は、27頁(現状と課題)に記載します。なお、44頁の余白には、メイプル耶馬サイクリングロード(旧耶馬溪鉄道跡)の写真を追加します。 【整備計画(案) 27、42頁参照】
1-48	環境・景観	外来種というのは国外から入ってきた種類のことで、例えばゲンゴロウブナのような琵琶湖特産のものが九州に入ってきたものは国内性外来種と呼んでいる。オヤニラミは希少種であり、外来種と全く性質が違う。間違っていて認識されているのではないか。	指摘を元に、オヤニラミ等の希少種をはじめとした動植物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全・創出に努めることを記載します。 【整備計画(案) 41頁参照】
1-49	環境・景観	希少種の保全に配慮した河川整備については、「4.1.3の整備と保全に関する事項」の「環境の場等の保全」に記載してはどうか。	
1-50	その他	「子供に残そう山国川」というキャッチフレーズを採用していることも踏まえでもあることから、学習館を資料館に変更しないでほしい。学習館のほうが、子供たちがたくさん集まって学習しているというイメージが残るのではないか。	平成21年以降は、名称を「資料室」とし、常駐のスタッフは置かず、事務所の職員で対応することとなりますが、出来るだけ今までと同じような利用がなされるよう運営してまいります。
1-51	その他	表紙については、山国川の全体像がイメージできる絵か写真があったら良い。	整備計画の本文に加え、パンフレットも作成・配布予定です。パンフレットについては、内容が伝わるようなデザインとします。
1-52	その他	表紙については、この河川整備計画の冊子ができたときに、だれがどんなときに見るかということを考えなければならない。例えば、縮刷版とか、市民向けのこれを説明するためのパンフレットのようなものができるとすれば、グラフィックなデザインとして、内容が伝わるようなイメージ図を入れるなど工夫してほしい。	

第3回山国川学識者懇談会 実施日:平成21年6月19日(金)

NO	分類	意見(質問)	回答
1-53	環境・景観	50頁のサイクリングロードを基軸とした水辺拠点整備という項目について、「自然や景観に配慮した整備に努めます」と書いてあり、具体的には、親水性の高い護岸やアクセスを容易にする階段や坂路等が整備された親水空間を創出しますと書いてあるが、よい自然と人の関係を損なわずに守るというニュアンスをもう少し前面に出してほしい。自然的な状況をいかに損なわないかというニュアンスが向こう5年、10年間で大事ではないかと思う。	整備については、環境保全のバランスを考 えながら、必要最小限の整備にとどめ、現 存の景観と自然環境を損なわないように配 慮します。 このことを踏まえ、「美しい景観や豊かな自 然環境の保全に配慮した整備に努めます」 という表現に修正します。 【整備計画(案) 48頁参照】
1-54	環境・景観	「自然性豊かな」と書いてあるその裏には 安全性が保障されなければ放置できな い。自然性と安全性は裏腹なのではな いかと思う。人間の命にかかわるよなとき に自然の豊かさをいえない場合があると思 う。コンクリートで固める場合、全部固め るのではなくて、何か工夫があるのでは ないか。	
1-55	環境・景観	中津の例でいうと、舞手川の護岸は日本 でも有名な工法で、石積みである。このよ うな工法が皆さん方の資料になるのでは ないかと思う。大新田の松林、砂堤防(中 津港に入る川)は大分県と東大と住民と が連携してやった事業であるが、この事 業が参考になると思うので、ご検討願 いたい。	
1-56	環境・景観	自然性と利用性のバランスが問題で、そ のバランスを、現存する環境の実情に応 じて細心の注意を払って整備に臨みます 等、一步踏み込んだ表現があると良い。 全国どこにでもあるような親水護岸や階 段等がいたるところにできることを危惧 してしまう。	
1-57	その他	59頁に「川の情報モニターを設置して」と 書いていますが、モニターは人なので、 「モニター制を設け」と表現したほうが良 い。	指摘を元に、文章を修正します。 【整備計画(案) 56頁参照】
1-58	治水・防災	地域の方の意見の中に、ダム管理によっ て洪水を引き起こしているのではないか という意見もあった。ダム管理の方法を 広報するという表現も59頁もしくは61頁あ たりに入れたほうが良い。	指摘を元に、河川管理施設の役割や管理 方法に関する情報発信を行っていくことを 追記します。 【整備計画(案) 56頁参照】
1-59	環境・景観	1頁に大きな項目として「山国川の概 要」、2頁に「地形、地質」、「気候」、「自 然環境」とあるが、自然環境の中に、地 形、地質、気候、水質等が含まれるの で、自然環境を大きな項目にして、その 中に地形、地質、気候、水質、そして動植 物、動植物をまとめて生物としたらどう か。	指摘を元に、構成を修正します。 【整備計画(案) 1、2、4頁参照】

NO	分類	意見(質問)	回答(案)
2-1	その他	流域内人口は流域内市町村の全人口か？	山国川流域内のみ的人口です。 【整備計画(案) 1頁参照】
2-2	治水・防災	河川整備計画の目標(治水)について、柿坂の流量は前回の会議資料と数値が違うのではないかと？	前回の会議では河川整備基本方針の流量(1/100)を記載していました。今回の流量は整備計画の流量(1/40)であるため小さくなっています。 【整備計画(案) 37頁参照】
2-3	治水・防災	ダム調節量は450m <sup>3</sup> /sとなっている。前は500m <sup>3</sup> /sであったが、なぜ違うのか？	
2-4	治水・防災	流量配分図については、黒川や友枝川からの流入量が記載されていたが、今回は記載されていない。	本文には、整備計画目標の、流量配分図を記載しております。整備計画は国管理区間だけを対象としているので、本文では国管理区間外の河川については流量値を記載しておりません。 【整備計画(案) 37頁参照】
2-5	治水・防災	東南海地震について、周防灘断層が発見され、30年に1回の確率でマグニチュード7.8規模の地震が起きる可能性があると言われている。周防灘断層地震による津波発生はかなり確率が高いと思われるが、発生した場合に山国川の被害はないのか？	東南海・南海地震についてはモデルが確立され、シミュレーション結果があり、山国川での対応をしています。周防灘地震は想定していないため、これから検討する必要がありますと考えています。 【整備計画(案) 38頁参照】
2-6	治水・防災	平成大堰は、上流からの流れには耐えられると思うが、逆流に対して耐えられるのか(水だけではなく漂流物等に対しても耐えられるか)	
2-8	利水・利活用	ダム湖に公園のような写真があるが、何をするとところなのか	この施設はアクアパークという施設です。中津市で水上スポーツの場として利用されています。また環境整備事業で、竹を伐採し、スポーツを観覧したり、憩いの場として利用できるように整備をしています。 【整備計画(案) 49頁参照】
2-9	環境・景観	外来種は、動物だけ記載しているようですが、水辺の国調やダム湖の国調からまとめたのか？植物についての結果はないのか？	耶馬溪ダムにおける外来種については、ブラックバス、ブルーギル、オオキンケイギク等がダムにおける水辺の国勢調査の中で確認をされています。
2-10	治水・防災 環境・景観	アクアパークの周りに人が集まってきている。今年は中学校に水上スキー一部もでき、水辺での育成が彼達に良い影響を与えた。町民の皆様も植樹をしてくれる等、皆さまの力で良い環境が作られている。 また、雨が降ったときには貯水位が上がっていると実感する。貯水位が上がっているから下流に水が行かないですんだと感じる。貯水位が上がったから下流に被害がなくて済んだというようなニュースは全く出てこないのは残念である。	洪水時のダムの操作や効果は委員のご指摘の通りであり、報道はされていませんが、洪水後ダムの果たした効果について記者発表もしています。

NO	分類	意見(質問)	回答(案)
2-11	環境・景観	河川整備計画の基本理念で「子供たちに繋ごう！ 耶馬溪・山国川のくらしと自然」というテーマがあるが、環境のところで「山国川固有の生命を育む水辺環境を守り伝える。」というのは具体的に何を指しているのか？ 山国川らしい河川をつくっていくためには正しい認識がないといけない	本文の41頁の、4.河川整備の実施に関する事項に含まれるところで、4.1.3 河川環境の整備と保全(1)動植物の生息・生育・繁殖環境の場の保全ということで記述していますが、今後の具体の対応については、ご意見を聞き、調査・検討を実施して決めていきたいと考えています。改修を行う際には、生物や環境に影響を与えないように配慮することを記述していますが、積極的に環境を作っていくというような記述は入っていません。 【整備計画(案) 41頁参照】
2-12	環境・景観	明文化するのはなかなか難しいと思うが、土砂の除去や樹木の間伐を実施というところについて、国交省の河川事務所でも、土砂のリサイクルがかなり実施されてきている。中津の場合、干潟の土砂がどんどん目減りしているという問題があるので、とってしまった土砂をリサイクルし循環型社会をつくっていくという発想も取り入れていただきたい。	土砂のリサイクルについては、我々は普段から意識している。外水面の漁協からも、干潟へ土砂を供給したいという希望は聞いているので、可能な限り取り組んでいきます。
2-13	利水・利活用	農業用水や都市用水の話は出てくるが、河口域には漁業があり、アサリに関して言えば、山国川の水が非常に影響しているということがある。また内水面のほうでも漁業をされている方がいるので、ぜひ漁業についても何らかの形で触れていただきたい。	本文の41頁に、自然環境の変化を把握するためモニタリングを行っていくと記述しているように、河川環境について今後とも監視していきます。 【整備計画(案) 41頁参照】
2-14	環境・景観	ゴミ対策のところで、もう一つ何か深い話があると良い。山で出たゴミは全部流れて海に行く。海においてボランティアでゴミを拾っているような状況なので、川と海と山の水系の連携というものも視野に入れていただきたい。	ゴミ対策については、本文63頁に記述しているように、地域住民や関係機関と連携し、流域一体となって除去や監視を行うとともに、マナー向上の啓発等に取り組んでいきます。 【整備計画(案)63頁参照】
2-15	環境・景観	冠石野地区の整備イメージ図については、まだ何も決まっていないので、これを実現されると思われるため記載しないでほしい。	ご指摘を元に削除します。 【整備計画(案) 48頁参照】
2-16	環境・景観	前は耶馬溪にゴミ焼却場があったが、今はなくなった。ゴミは中津に持って行くしかないが、1時間もかけて持って行っていないはずである。償却できないゴミがどうなっているのかが気になる。	ゴミ対策については、63頁に記述しているように、地域住民や関係機関と連携し、流域一体となって除去や監視を行うとともに、マナー向上の啓発等に取り組んでいきます。 【整備計画(案) 63頁参照】
2-17	環境・景観	ダム湖の周辺についての植物の説明については、ダム湖の周辺は昔は常緑の樹林であり、ダムができた当時は様子が変わってしまったが、今はかつての森の状況を水辺のすぐ上辺くらいから保っていることを記載してほしい。	ご指摘の内容は、ダム湖の自然環境の変化に特化した内容ではないため、具体的な記載については考えていません。

NO	分類	意見(質問)	回答(案)
2-18	環境・景観	原案の4頁について、「支川山移川の耶馬溪ダム湖周辺は、スギ・ヒノキ植林とアカメガシワ群落の照葉樹林が混在し…」とあるが、この1行は大変問題がある。現実には、スギ・ヒノキの植林は水辺からかなり後退している。水辺のすぐ近くにスギ・ヒノキの植林はあまりなかったような記憶がある。(河川水辺の国調は、山国川については随分詳しく調べているが、ダム湖の周辺は詳しく調べていない)	(4頁については)ご指摘を元に修正します。 【整備計画(案) 4頁参照】
2-19	環境・景観	「アカメガシワ群落」という言葉があったが、アカメガシワは、谷が崩れたり、山の斜面が壊れたりして今から森ができるといときに、ネムノキとか、ヌルデとか、ノイバラとかいうものと一緒に出てくる植物である。ここは、「支川山移川の耶馬溪ダム湖周辺は、アラカシを初め、シラカシ、ツクバネガシなどのカシ類に、コジイを交えたシイ・カシ萌芽林が森を残しており、……」に変えたほうが良い。	(4頁については)ご指摘を元に修正します。 【整備計画(案) 4頁参照】
2-20	治水・防災	13頁の7行目で、「山国川の堤防は、過去の度重なる洪水や被災等の履歴に基づき…」の「履歴」という言葉の意味は？	過去の歴史という意味で「履歴」という言葉を使っています。 【整備計画(案) 13頁参照】
2-21	環境・景観	25頁の3行目で、「中流部では、河岸にはエノキ・ムクノキなどの河畔林、水辺にはツルヨシ群落、水際の」とあるが、「ツルヨシ群落、柿坂付近の水際の岩肌には…」と修正したほうが良い。山国川全部にキシツツジがあるみたいにとられてしまう。天然記念物の地域なので、決して山国川全部にあるわけではない。	ご指摘を元に修正します。 【整備計画(案) 25頁参照】
2-22	環境・景観	39頁に「山国川の貴重種としては、キシツツジ、ハマサジ等の植物」とあるが、キシツツジは25頁で場所を特定したので問題ない。ハマサジについては、中津川の左岸で塩生植物として見ていたが、最近はない。これは水辺の国調をもとに記載しているので、それを基本にしたのであれば問題ないと思う。	ご指摘を元に修正します。 【整備計画(案) 38頁参照】
2-23	環境・景観	下唐原の幼稚園のところの水辺の護岸のにタコノアシがかなりある。これも水辺の国調の当時のものを参考にしていれば入れても問題ない。最近については確認していない。貴重種がここにいるということを基盤に置いて、保全に対する目標を記載したほうが良いのではないか	タコノアシなど貴重種に関する記述は39頁にあるので、その部分への記載を行います。 【整備計画(案) 38頁参照】

NO	分類	意見(質問)	回答(案)
2-26	環境・景観	観光協会は、毎年北九州市の水道局を通じてダム周辺で上下流育樹の集いを行っている。また、NPO法人の耶馬溪の自然と景観を守る会では、ダム周辺で、モミジ、サクラ、イチヨウ、いろんな木を植えている。また、中津の桜ともみじの会も耶馬溪周辺で植樹活動を行っている。この件については、木の伐採等のご協力をいただいていることをこの場をおかりしてお礼を申し上げたい。植えた後は十分に管理をしているので、今後ともそういう活動は続けていきたいと思っている。	観光協会やNPOの活動は、水源地域を守り育てるという意味からもまた、水利用者の啓発という意味からも大変重要な取り組みと考えており、今後できるだけ協力していきます。
2-27	環境・景観	ボランティアで、柿坂地区周辺でやぶに埋もれているキシツツジを、やぶを切って出す活動をしている。今後、山国川の護岸工事をしたときに、そのキシツツジを少しずつふやしていつてもらいたいと思う。そのままにしておけば絶滅するので、護岸工事をしたときに邪魔にならないところがあれば、そのキシツツジを移植してほしい。	柿坂地区付近において、現時点での工事の予定はないが、工事がある場合は、配慮しつつ施工を行います。
2-28	環境・景観	現在、耶馬溪ダムではブラックバスがかなり繁殖して、50cm級が釣れるということで、若者が毎日釣りに来て、リリースしている。以前、ダム湖に稚アユが自然にできていたのですが、最近全くアユの姿を見ないようになった。シラハヤもたくさんいたが最近は全然いなくなった。今日の原案の中では、そういったものの退治の話も出ているが、策定して実際行動に移るまでにはかなりの日数がかかりそうなので、ブラックバス、ブルーギルの外来種の駆除を早急にしてもらいたい。	外来種のブラックバスやブルーギルの駆除は、直接的になかなか対処できないので、漁業組合等と協力し、知恵を出し合っていきたいと考えています。このような意味で本文の62頁に記述しています。 【整備計画(案) 62頁参照】
2-29	治水・防災	資料-4の河川整備の実施、治水について、整備計画で上がっている原井地区や青地区の整備計画の施工の場所はすべて計画の指定された水位までできていない堤防が整備箇所という認識でよろしいか？	整備計画の築堤箇所は、現況堤防の高さが計画の高さまで完成していない箇所です。
2-30	治水・防災	整備したことによって、山国川の下流のほうにその分の水が影響してくることはないのか？堤防ができることによる下流への影響はどうか？	下流地区については堤防が概ね完成しているので、上流で築堤することによって下流があふれるというようなことにはつながらないと考えています。

上毛町住民との意見交換会(平成21年1月15日)

NO	分類	意見(質問)	回答
3-1	その他	堤防の草丈が高いところがある。住民が草を 蒔っても良いか。	年に2回は除草をしている。 切った草を回収する必要があるので事務所へ連絡を お願いします
3-2	環境・景観	昔は河川に外来種はいなかったので、魚が多 く生息していた。近年は魚がいないので、何と かしてほしい。今現在、外来種について確認は しているのか？ 積極的に対策をやってもらいたい。	外来種については、ダム及び河川について調査してい ます。 外来種のブラックバスやブルーギルの駆除は、直接的 になかなか対処できないので、漁業組合等と協力し、 知恵を出し合っていきたいと考えています。このよう な意味で本文の62頁に記述しています。 【整備計画(案) 62頁参照】
3-3	治水・防災	整備計画の目標流量で、川の流速はどれくら いか？ S19年洪水、S28年洪水の流速はどれくらい だったのか？堤防は安全なのか？	あくまでも計算による推算値ですが、断面の平均的な 流速は、S19年洪水及びS28年洪水で概ね4m/秒前 後です。流速が速く、洗掘の恐れがあるところについ ては、護岸を設置する等の措置を行い、整備目標流 量に対する安全性を確保します。
3-4	環境・景観	堤防がいらないところは造らないでほしい。 市場橋、友枝川合流点付近の堤防がないとこ ろは自然が多いので、堤防を造らないでほし い。 散策路も造らないでほしい。	市場橋、友枝川合流点付近は地盤が高いので堤防は 造らないことにしています。
3-5	環境・景観	整備計画パンフレットのアンケートについて、 河川内の土砂撤去と樹木伐採と書いてある が、生態系が変わるので外してほしい。 水利用については水を他流域に送っているの で、環境は守ってほしい。	水際から上だけを対策するので生態系への影響は少 ないと考えます。堤防の安全性を脅かすような樹木に ついて伐採するようにしています。

中津市(旧耶馬溪町)住民との意見交換会(平成21年1月19日)

NO	分類	意見(質問)	回答(案)
3-6	治水・防災	災害時に国交省の監視カメラ映像をインター ネットで見られないか？(中津市耶馬溪支所職 員)	将来的にはインターネットで公開したいと考えていま す。
3-7	治水・防災	耶馬溪ダムは耐震は十分か？	阪神淡路大震災のとき、周辺のダムは大丈夫でした。 耶馬溪ダムも同じ設計思想に従って設計されており、 問題ないと考えています。



中津市住民との意見交換会(平成21年1月22日)

NO	分類	意見(質問)	回答(案)
3-8	その他	山国川は河川整備にどれくらいの費用を使っているのか。	洪水対策としての河川整備費用及び河川、耶馬溪ダム、平成大堰等の維持管理費用をあわせて、1年間で概ね18億円です。
3-9	その他	整備計画の費用はどれくらい見込んでいるのか？	試算はしていますが、状況に応じて適宜見直すため、整備計画として明記はしていません。
3-10	その他	山移川にかかる橋の近く(ダム上流)において、危険を知らせる防護壁の黄色の斜線が薄れている。対応してほしい。 (以前、車が川に飛び込んだ場所である)	現地を確認して当方の所管であればすぐに是正するし、道路の所管であれば明日にでも県や市に連絡する。(次の日に市を通して中津土木に連絡済み、また後日、中津土木にも直接連絡済み)
3-11	その他	無許可で産業廃棄物を取り扱っている業者がいるので、対応してほしい。整備計画に記載してほしい。以前、洪水時に廃車が川を流れ海へ流れ込み、回収に費用がかかったという実績がある。どの機関が窓口になるのか分らない。	個人の土地なので、国土交通省としても対応が難しいところですが、関係機関と情報を交換・共有し、連携しながら対応しております。また、湯水のときや水質事故が発生したとき等には、協議会を開いて、関係機関と協力し、取水制限や水質事故対策などの対応を行っております。
3-12	利水・利活用	整備計画で住民とともに水質を監視すると書いてあるが、ただ監視するだけでなく、何らかの対応が必要なのではないか？	【整備計画(案) 61頁参照】
3-13	治水・防災	支流(支川)は国土交通省は管理していないのか？ 支流(支川)の上流には集落があるが、崩壊している。山林の保護がなされないので、土砂流出が予想される。将来を見込んでシミュレーションしているのか。	当事務所では、支川は山移川の一部と中津川を管理しています。 水の量については、現段階では過去の実績洪水を参考に検討しているので、将来の変化は見越していません。
3-14	利水・利活用	支流は三面張りが多く、子供たちが遊べない。	最近の河川整備では、自然や生態系を考慮した川づくりが実施されています。山国川の整備計画についても、自然や景観を考慮した整備を行っていく計画であり、現在、整備中の青地区についても、石積みの自然石を使用して整備しています。
3-15	環境・景観	治水が完璧な川を造るのではなく、自然の恐ろしさをとらえて、避難による対応を行っていく必要があるのではないか？ 景観が良いところを無理に整備することはない。洪水がきたら逃げればよい。 自然の川の良さを子供たちに体験させたい。	自然現象を相手にする河川の整備には限界があります。国土交通省としても、浸水時においても減災を図るために、災害情報の提供や平常時から防災意識を共有するなど、危機管理対策にも取り組んでいます。 【整備計画(案) 53～60頁参照】
3-16	その他	山国川学習館はすばらしい。流域の大きさに見合った施設規模であると感じた。スタッフもすばらしい。 地元の情報を発信する施設として重要である。整備計画に山国川学習館のことを記載してほしい。 (小学校教師)	平成21年以降は、名称を「資料室」とし、事務所の職員で対応することとなりますが、出来るだけ今までと同じような利用がなされるよう運営してまいります。本文では、64頁で環境学習を積極的に支援するという表現をさせていただきました。 【整備計画(案) 64頁参照】
3-17	利水・利活用	中津干潟の浄化に山国川は大きく関係している。ぜひとも、水質や水量を保持して欲しい。	整備計画には、水質や水量についての目標が記載されています。今後とも川の水を監視し、この目標を達成するよう努めます。 【整備計画(案) 22、37頁参照】

山国川水系河川整備計画アンケート調査結果(自由意見)

No	お住まい	分類	この資料で関心を持ったこと、山国川河川整備計画に関するご意見など	事務所からの回答
4-1	中津市(旧中津市)	その他	地域の意見をきいて工事を進めて欲しい。各地で意見を言える機会をつくって欲しい。急いで工事を進めるようなことはやめ、十分に考える時間が欲しい。言ったことは職員が変わっても引き継ぐようにして欲しい。(何度も同じことを言っている！)	地域の意見は、可能な限り反映させていきたいと考えます。 【整備計画(案) 64頁】
4-2	中津市(旧中津市)	その他	1つ1つの事業があって美しい川が維持されていると思いますが、一般の人には具体的な内容がやはり把握しにくい所もあるのかなとも思いました。	河川整備については、皆様にあまり知られていないということも有るかと思いますが、今後とも皆様に理解していただけるよう努力していきます。【整備計画(案) 64頁】
4-3	中津市(旧中津市)	その他	魅力ある川というのは、地域住民が生活の一部と感じている川だと思います。山国川という川は新中津市を上流から下流まで流れるものであり、地元にとって生命の川と言えます。	国土交通省としては、関係機関や地元住民の方々と協力しながら、「子供たちに繋ごう！耶馬溪・山国川のくらしと自然」という山国川河川整備の基本理念に従って、魅力ある川づくりを進めていきます。【整備計画(案) 33頁参照】
4-4	中津市(旧中津市)	その他	ここを管理する国交省は、その中核となるべきです。	国土交通省としては、関係機関や地元住民の方々と協力しながら、「子供たちに繋ごう！耶馬溪・山国川のくらしと自然」という山国川河川整備の基本理念に従って、魅力ある川づくりを進めていきます。【整備計画(案) 33頁参照】
4-5	中津市(旧中津市)	治水・防災 環境・景観	原案の中では特に治水と環境に力を入れて欲しい。	国土交通省としては、関係機関や地元住民の方々と協力しながら、「子供たちに繋ごう！耶馬溪・山国川のくらしと自然」という山国川河川整備の基本理念に従って、魅力ある川づくりを進めていきます。【整備計画(案) 33頁参照】
4-6	中津市(旧中津市)	環境・景観	豊かな自然の残る山国川のことを広く周知し、次世代にひきつぐ努力を!	国土交通省としては、関係機関や地元住民の方々と協力しながら、「子供たちに繋ごう！耶馬溪・山国川のくらしと自然」という山国川河川整備の基本理念に従って、魅力ある川づくりを進めていきます。【整備計画(案) 33頁参照】
4-7	中津市(旧中津市)	その他	現在、川に関心を持っている方が昔より減っていると思います。	流域にお住まいのみなさまにとって「ふるさとの川」であって欲しいと考えております。河川に関心を持つ人が増えれば、良いと思います。
4-8	上毛町(旧新吉富村)	その他	山国川は私のふるさとの川であります。	流域にお住まいのみなさまにとって「ふるさとの川」であって欲しいと考えております。河川に関心を持つ人が増えれば、良いと思います。
4-9	中津市(旧中津市)	その他	このアンケート問-1、問-2の全部に印をつけたい内容です。意味がないように思う。	記述式だけでは皆様のご意見が集約出来ないと思い、このような方式でご意見を伺いました。
4-10	中津市(旧中津市)	その他	大昔川より文化が発展した事を、その川の大切さを小学校の出前授業でも能動的に取り組んで貰いたいですね。応援します。	九州地方整備局全体で、出前講座という取り組みを行っており、川に関する説明などについて、出前授業のようなこともしております。詳しくは九州地方整備局のHPをご覧ください。
4-12	上記以外の大分県	その他	私たちの税金が何に使われているのか情報を発信してほしい。また、川に親しみやすくなるように、山国川の生物や流域の文化・歴史などを紹介するパンフレットがあれば良いと思う。	当事務所で行っている事業につきましては、当事務所のHPで見ることが出来ますし、事業概要を作成しております。当事務所まで来て頂ければ、ご提供も可能です。

山国川水系河川整備計画アンケート調査結果(自由意見)

No	お住まい	分類	この資料で関心を持ったこと、山国川河川整備計画に関するご意見など	事務所からの回答
4-13	中津市(旧中津市)	その他	色々なご意見を聞く事は必要ですが、どれからやるかが大事ですね。やる事が良いと思いますが、何人かを集めて話を聞いたり、質問する等、情報を与える事も大事と存じます。	私たちも大事だと考えております。機会がある度に、皆様方の疑問等に答えていきたいと考えております。地域の皆様のご意見は可能な限り、事業に反映させていきたいと考えています。
4-14	中津市(旧耶馬溪)	その他	訪問者の意見を聞く事は大切でしょう。	私たちも大事だと考えております。機会がある度に、皆様方の疑問等に答えていきたいと考えております。地域の皆様のご意見は可能な限り、事業に反映させていきたいと考えています。
4-15	回答なし	その他	国土交通省と地区住民とのへだたりがあり、この壁をなくすためにもふれあいの場(対話集会・イベント・ボランティア)を設けて官民協同で河川行政を取り組むことが大事なことはないだろうか。	「山国川の日(10月15日)」の河川一斉清掃、「森と湖に親しむ旬間」の際の広報など、地域住民の皆様とふれあう機会を設けており今後も流域住民の皆様とふれあう機会が増えるように努力してまいります。今後も努力してまいります。【整備計画(案) 64頁】
4-16	回答なし	その他	平成大堰の上流にある中古車、廃品などが川の中に置いてあることで22日に出席が出来ませんでしたのでFAXさせていただきます。廃品を置いている所は私有地と聞きましたが私有地であれば私有地と川の間に土手を作って流れ込みを防ぐ方法はとれないのでしょうか。	当該箇所は40年に1回の洪水を流す断面がありますが、私有地と川の間土手を作れば川幅が狭くなり洪水が流れにくくなり、上流に悪影響を及ぼすことが懸念されます。堤防を整備する予定はありません。
4-17	上記以外の福岡県	その他	今ある学習館を有効利用して、自然体験の拠点として利用できればいいと思います。	平成21年以降は、名称を「資料室」とし、事務所の職員で対応することとなりますが、出来るだけ今までと同じような利用がなされるよう運営してまいります。
4-18	上記以外の福岡県	その他	他県から見学にきました。河川の特徴や生物の面白さなど、分かりやすく地域に根づいた施設だと思います。全国に川の資料館は沢山ありますが、ダムや、災害時の説明をされる所が多い中、住民参加で川の活動を通し、故郷の川を好きになってもらうような運営をされており、大変感銘を受けました。活動が誰にでも分かりやすく、尚且つ、本格的でとても興味深いです。これからも頑張ってください!!本日はありがとうございました。	
4-19	上記以外の福岡県	その他	非常に素晴らしい施設だと思います。河川事務所内にこのような施設があることに感心しました。なかでも、スタッフが民間の方で非常に知識が豊富であること、ゆえに地域に根ざした活動をされていることにおどろきました。福岡には河川事務所が運営するこのような施設がありますが、事務所職員の対応ではおもしろくも何ともありませんでした。	

山国川水系河川整備計画アンケート調査結果(自由意見)

No	お住まい	分類	この資料で関心を持ったこと、 山国川河川整備計画に関するご意見など	事務所からの回答
4-20	中津市(旧中津市)	その他	山国川学習館はより利用させてもらっています。このような場所をもっと増やしてください。	平成21年以降は、名称を「資料室」とし、事務所の職員で対応することとなりますが、出来るだけ今までと同じような利用がなされるよう運営してまいります。
4-21	中津市(旧中津市)	その他	川を美しく安全に保つために、上記にあるような様々な事業があるということが分かりました。	
4-22	中津市(旧中津市)	その他	山国川学習館では普段みすぐしてしまうような事をわかりやすく展示しており、また説明してくださり大人も子供も川に興味を持って自然のある川を大切にしたい気持ちになることができるともよいと思います。	
4-23	中津市(旧中津市)	その他	山国川学習館が誕生したとき、自分たちと山国川との接点に思えました。感謝もしました。是非ともこの施設を残して頂きたい。そして、ここを発信源として、私たち住民に川のことを提起して頂きたい。山国川水系河川整備計画(原案)にこのことについて書かれていないのは誤りなのでは。	
4-24	上毛町(旧新吉富村)	その他	山国川学習館の看板を見て学習塾ができたのかと思いましたが、実はこの川のことを学べる素晴らしい場所であることがわかりました。	
4-25	上毛町(旧新吉富村)	その他	山国川学習館が入場者増え、学習する人が増えることを切に希望します。そのための努力もすべきだと思います。この意見取り入れてください。	
4-26	中津市(旧中津市)	その他	山国川学習館のような施設がたくさんあると良いですね。子供がとても喜んで利用しています。	
4-27	吉富町	その他	山国川学習館は小さな子供から大人まで自然を学ぶ環境としては川のすぐ傍にあり、自然観察会などの拠点になり得る貴重な存在です。今後ますます地域の為、山国川の為になることを祈っています。	
4-28	中津市(旧中津市)	その他	このような学習館は必要な施設だと思います。	
4-29	上記以外の大分県	その他	情報発信の拠点であり、流域の交流の核となる学習館のような施設の充実(数ではなく質・内容・役割の向上)を図ってもらいたい。これからの時代、社会教育施設の必要性が高まってくると思う。	
4-30	中津市(旧中津市)	その他	山国川学習館の継続を是非お願いします。子供の教育に最適と思います。	
4-31	中津市(旧中津市)	その他	山国川学習館に学校で行きました。こんな場所がたくさんあると楽しいし、勉強になっていいと思います。	
4-32	上毛町(旧新吉富村)	その他	(学習教育施設)山国川のこと、いろいろわかる場所のますますの充実を図ってほしい。	

山国川水系河川整備計画アンケート調査結果(自由意見)

No	お住まい	分類	この資料に関心を持ったこと、山国川河川整備計画に関するご意見など	事務所からの回答
4-33	中津市(旧中津市)	その他	子供たちに山国川(自然環境)を理解させるための川づくりを推進してもらいたい。例えば今ある学習館を充実させるとか…(※小さくても地域に学習館のような施設があるということはその地域が豊かであるということだと思う。)	平成21年以降は、名称を「資料室」とし、事務所の職員で対応することとなりますが、出来るだけ今までと同じような利用がなされるよう運営してまいります。
4-34	上記以外の福岡県	その他	子ども達に河川愛護の気持ちを持ってもらうために、今ある学習館を有効利用したい。特に、土、日の開館は必要と思うが、学校関係としては平日も学習に利用したい。	
4-35	上記以外の大分県	環境・景観	環境学習の場をもうけた上で、それを多くの人に利用してもらえるよう、情報を広めることが出来ると良いのではないかと。	
4-36	中津市(旧中津市)	治水・防災	昭和19年の水害時の如きが再び再発生した場合、堤防のすぐ下に住む私たちはどうしたらよいのか分からない。不安である。	現在、昭和19年規模の洪水に耐えうる堤防整備を行っております。しかし近年の降雨は突発的な水害をおこす可能性もありますので、日頃の防災への意識が大事かと思えます。ラジオや携帯電話などの水害情報に注意して下さい。 【整備計画(案)56～58頁参照】
4-37	中津市(旧中津市)	治水・防災	旧市内が未整備でないか	中津市の旧市内部分については、概ね整備は終わっています。 【整備計画(案)14頁参照】
4-38	中津市(旧本耶馬溪町)	治水・防災	耶馬溪ダムの役割も非常に大きいと思えます。特に、洪水や濁水時の役割は計り知れないものがありますが、しかし、私たちの地区では、堤防が未整備や堤防高さが不足しているため、災害時には、耶馬溪ダムが山国川が一番増水時にダムの放流を行っているのが被害を更に一層大きくしているのが現状ですので大雨の予想される時は、天気予報を聞きながら放流を早めにする等考慮すれば被害も少なく済むのではないかと思いますので、放流基準を見直す必要もあると思えます。	洪水の時に耶馬溪ダムが放流するというのは、多少誤解がありますので正確に答えます。耶馬溪ダムは、支流山移川に築造されており、洪水の時は山移川に流れてくる水をダムに貯め、その分を軽減して放流しております。計画上は最大で約7割はダムで軽減する計画になっております。H19年8月の台風5号の時もダムで山移川最大流量の時、約6割を耶馬溪ダムに貯め込んでおります。結果、青付近では70cmの水位を低減しています。洪水の時、山移川の全て水を耶馬溪ダムに貯めることは出来ませんので軽減して放流しているのです。この時川で遊んでいる人や川を利用している人に対して「放流中」のお知らせをしております。これが、住民の方から誤解を受けているのではないかと考えています。 【整備計画(案)40、52頁参照】
4-39		治水・防災	河川の土砂堆積の除去等をすれば被害も軽減されると思えます。	土砂の堆積状況が大きく、洪水などへの影響が生じる場合は、土砂除去等を実施します。 【整備計画(案)52頁参照】
4-40	吉富町	治水・防災 環境・景観	河口がむかしを思いかえずとずいぶん堆積してしまった。	土砂の堆積状況が大きく、洪水などへの影響が生じる場合は、土砂除去等を実施します。 【整備計画(案)52頁参照】

山国川水系河川整備計画アンケート調査結果(自由意見)

No	お住まい	分類	この資料で関心を持ったこと、山国川河川整備計画に関するご意見など	事務所からの回答
4-41	中津市(旧本耶馬溪町)	治水・防災	(早瀬橋より日田方面50m護岸工事無し、それより400mは、護岸工事はしているが堤防高さが1.5m不足している。早瀬橋より中津方面150mより多志田洞門付近までは国道212号線の路面上げが必要である。)	当地区については多志田地区として整備計画の施工予定箇所に記載しております。 【整備計画(案) 44～45頁参照】
4-42	上毛町(旧新吉富村)	治水・防災	河川内の樹木や土砂を取除いてほしい	自然環境に配慮しつつ、川の水を安全に流すことに影響を及ぼす場合は、樹木伐採や土砂除去などを行います。 【整備計画(案) 52頁参照】
4-43	中津市(旧中津市)	治水・防災	山国川はハード面についてはかなり充足しているように思います。地域の交流や環境学習を通してソフト面の充実が必要。	ソフト面の充実は、河川管理者のみならず、地域住民の方々の活動や、川に親しんでいる方々などの活動が大きいと思われまます。 【整備計画(案) 53～60頁参照】
4-44	回答なし	治水・防災	今日まで、半世紀以上土砂の搬出を見た事がない、とりわけ堤防建設後、洪水度に土砂が堆積し水の流れが変化するとともに水の溜まりが小さくなり自然ダムがなくなっているので土砂の搬出が必要である。	河川環境の観点から、必要以上の土砂除去は行いませんが、必要な場合は実施していきます。 【整備計画(案) 52頁参照】
4-45	回答なし	治水・防災	洪水時の危険箇所は当然堤防は必要である(防災計画)	整備目標流量に対し、堤防決壊、家屋浸水の被害を防止する対策として、堤防の整備を行っていきます。【整備計画(案) 44～45頁参照】
4-46	中津市(旧中津市)	治水・防災 環境・景観	いつまでも安全、安心できれいな水の山国川であることを願います。	国土交通省としては、関係機関や地元住民の方々と協力しながら、「生命・財産を守る川づくり」「流域と一体となった防災・減災を目指す」「水の恵みと生命育む流れを守り伝える」という山国川河川整備の基本理念に従って、安全、安心できれいな水が流れる川づくりを進めていきます。【整備計画(案) 33頁参照】
4-47	吉富町	環境・景観	ガンシヨ(平長エビ)、どんぐろ(ゴリ?)、ジジゴ(小型のゴリでむれをなす)が河口にいたなくなった。我々が子供の時に慣れ親しんだ生物である。これらの生き物の復活を心から望んでいる。	国土交通省としては、関係機関や地元住民の方々と協力しながら、「生命・財産を守る川づくり」「流域と一体となった防災・減災を目指す」「水の恵みと生命育む流れを守り伝える」という山国川河川整備の基本理念に従って、安全、安心できれいな水が流れる川づくりを進めていきます。【整備計画(案) 33頁参照】
4-48	中津市(旧中津市)	利活用	堤防の道路が、車両の交通量が多く、歩行者が安全に安心して歩けないので、高水敷の凹凸をなくして散歩やウォーキングできる道にして欲しい。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30～31、38、47～49頁参照】
4-49	吉富町	利活用	山国川を散歩する際に吉富側が途中で道が途切れています。(町営住宅付近から垂水付近まで)山国大橋から市場橋の間を一周ぐるっと散歩できるように整備してほしい。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30～31、38、47～49参照】

山国川水系河川整備計画アンケート調査結果(自由意見)

No	お住まい	分類	この資料で関心を持ったこと、山国川河川整備計画に関するご意見など	事務所からの回答
4-50	吉富町	利活用	(各地点に〇〇mと表示をしたら更に親しみやすいのでは?)	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30~31、38、47~49頁参照】
4-51	中津市(旧耶馬溪)	利活用	山国川ぞいにジョギングができるようにしてほしい。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30~31、38、47~49頁参照】
4-52	中津市(旧中津市)	利活用	高水敷の凹凸をなくして、歩行、ウォーキング出来る道にして欲しい。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30~31、38、47~49頁参照】
4-53	中津市(旧中津市)	利活用	コンクリートの過剰護岸で、流量の乏しくなった河川を改修して欲しい。丸石が出て歩き難い部分を改修して、一貫した遊歩道の整備。犬の糞対策の注意板設置。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30~31、38、47~49頁参照】
4-54	中津市(旧中津市)	利活用	堤防道路の整備をお願いします。歩道の増設。高水敷を歩き易くフラットにして欲しい。堤防下の水路管理をお願いします。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30~31、38、47~49頁参照】
4-55	中津市(旧中津市)	利活用	堤防上の歩道の設置。(近年交通量が多くて歩行者が危険)	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30~31、38、47~49頁参照】
4-56	中津市(旧中津市)	利活用	水遊びの大型河川公園。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30~31、38、47~49頁参照】
4-57	中津市(旧中津市)	利活用	山国川沿い、春にサイクリング大会イベント開催。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30~31、38、47~49頁参照】
4-58	回答なし	利活用	既存の河川堤防や新設の堤防に桜や山国川のシンボルマークの紅葉の植栽し未永く住民の憩いの場として親しみを持つ堤防が必要ではないでしょうか。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30~31、38、47~49頁参照】
4-59	回答なし	利活用	本耶馬溪町、「青の洞門」には住民や観光客らに水に親しめるように「親水公園」があってもいいのではないだろうか。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30~31、38、47~49頁参照】
4-60	回答なし	利活用	本耶馬溪町、日本一長い石橋「オランダ橋」と荒瀬水路の水門口があり観光客も少しずつ増加しており、せせらぎの流れで水とふれあいの場が出来ないだろうか。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30~31、38、47~49頁参照】

山国川水系河川整備計画アンケート調査結果(自由意見)

No	お住まい	分類	この資料に関心を持ったこと、山国川河川整備計画に関するご意見など	事務所からの回答
4-61	回答なし	利活用	両岸を整備し山国川らしい川になったらよいと考えます。どうぞよろしく願っています。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30～31、38、47～49頁参照】
4-62	回答なし	利活用	両岸に桜の花が咲いていたら心が和みます。桜の咲く所に山国川まつりでもあったらいいですね。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30～31、38、47～49頁参照】
4-63	中津市(旧中津市)	利活用	堤防上の道路が、車の交通量が多く、歩行者の安全、安心が保てない。	河川利用に関する整備については、地元市町と調整を行いつつ市町と役割分担を行い実施していきます。 【整備計画(案) 30～31、38、47～49頁参照】
4-64	中津市(旧中津市)	利水	ダムでの水量確保ではなく、通常時の川の流量をふやしてもらいたい。	山国川は急峻で流域面積が狭いため通常時でも水の少ない河川です。そのためダムは降雨等で山国川の水量の多いときに山移川の水をダムに貯めています。山国川の水量が少なくなるとダムの水を流して山国川に安定した水の量を確保しております。 【整備計画(案) 11、40、61頁参照】
4-65	中津市(旧中津市)	環境・景観	中津干潟の浄化能力には川の流れが重要。それも取り組んで欲しい。	山国川は急峻で流域面積が狭いため通常時でも水の少ない河川です。そのためダムは降雨等で山国川の水量の多いときに山移川の水をダムに貯めています。山国川の水量が少なくなるとダムの水を流して山国川に安定した水の量を確保しております。 【整備計画(案) 11、40、61頁参照】
4-66	回答なし	環境	河川汚水の主要原因である生活廃水の取り組みをしなければならぬ、自治体は集落排水施設や浄化水槽設置には補助金制度で対応しているが、何らかの国土交通省も支援してもいいのではないだろうか。	山国川流域の生活排水への取り組みとしまして、流域市町の方々と「水質汚濁協議会」という会議を行い、流域の水環境が良くなるように議論しております。事務所から補助金等はありません。
4-67	回答なし	利水	豊かな水量を確保するために上流域に植栽計画も検討では。	流域全体で植樹に取り組むことが大事です。
4-68	中津市(旧中津市)	治水・防災 環境・景観	30年スパンを考え植林し動物の生息、植物の生育を考えた環境を整備していけば治水にもプラスになる。	流域全体で取り組むことが大事です。
4-69	中津市(旧中津市)	環境・景観	魚の住みやすい河川にして欲しい(昔の様な)	自然環境の変化を把握するため、河川水辺の国勢調査等のモニタリングを行い、動植物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全・創出に努めます。 【整備計画(案) 41頁参照】
4-70	上毛町(旧新吉富村)	環境・景観	昔からの山国川、自然を守って欲しい。	自然環境の変化を把握するため、河川水辺の国勢調査等のモニタリングを行い、動植物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全・創出に努めます。 【整備計画(案) 41頁参照】



山国川水系河川整備計画アンケート調査結果(自由意見)

No	お住まい	分類	この資料で関心を持ったこと、 山国川河川整備計画に関するご意見など	事務所からの回答
4-71	中津市(旧中津市)	環境・景観	水質監視だけでなく、多様な動植物が生きていけるように自然環境保護にも積極的に取り組むことも肝要だと感じます。	自然環境の変化を把握するため、河川水辺の国勢調査等のモニタリングを行い、動植物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全・創出に努めます。 【整備計画(案) 41頁参照】
4-72	中津市(旧中津市)	環境・景観	川の中が汚れたり、水がにごらないようにするのは難しい事だけど、それ以外でも川の管理をしていくのも難しいことだなと思いました。	自然環境の変化を把握するため、河川水辺の国勢調査等のモニタリングを行い、動植物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全・創出に努めます。 【整備計画(案) 41頁参照】
4-73	中津市(旧中津市)	環境・景観	河川整備をするなら、昔の自然を少しでも取り戻す努力をするべきだと思います。	自然環境の変化を把握するため、河川水辺の国勢調査等のモニタリングを行い、動植物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全・創出に努めます。 【整備計画(案) 41頁参照】
4-74	上毛町(旧新吉富村)	環境・景観	川の治水はもちろんこの自然を大切に未来に残していきたいと思います。	自然環境の変化を把握するため、河川水辺の国勢調査等のモニタリングを行い、動植物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全・創出に努めます。 【整備計画(案) 41頁参照】
4-75	上記以外の福岡県	環境・景観	山～川～海は一对だから大切なもの。自然をこわさないで利用しましょう。	自然環境の変化を把握するため、河川水辺の国勢調査等のモニタリングを行い、動植物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全・創出に努めます。 【整備計画(案) 41頁参照】
4-76	中津市(旧中津市)	環境・景観	治水のみに重点を置いた魅力に乏しい(殺風景な)河川づくりはやめてもらいたい。	景観、生態系に配慮した整備を目指しています。 【整備計画(案) 45頁参照】
4-77	中津市(旧中津市)	環境・景観	河川や水、自然環境は住民みんなのものです。	関係機関や地元住民の方々と協力しながら、「子供たちに繋ごう！ 耶馬溪・山国川のくらしと自然」という山国川河川整備の基本理念に従って、魅力ある川づくりを進めていきます。【整備計画(案) 33頁参照】
4-78	中津市(旧中津市)	環境・景観	誰もが観て「綺麗な川」といってもらえるような川を是非つくってください。	関係機関や地元住民の方々と協力しながら、「子供たちに繋ごう！ 耶馬溪・山国川のくらしと自然」という山国川河川整備の基本理念に従って、魅力ある川づくりを進めていきます。【整備計画(案) 33頁参照】
4-79	中津市(旧本耶馬溪町)	環境・景観	山国川流域は、多くの景勝地があり、自然を生かした観光産業も重要であり、下流の旧中津市内ではダイハツ九州をはじめとして自動車関連産業の工業用水、都市用水、農業用水としても重要な役割を果たしています。ので山国川の自然を活かし歴史、文化、景観をできるだけ壊さないきれいな川にする必要があると思います。	関係機関や地元住民の方々と協力しながら、「子供たちに繋ごう！ 耶馬溪・山国川のくらしと自然」という山国川河川整備の基本理念に従って、魅力ある川づくりを進めていきます。【整備計画(案) 33頁参照】

山国川水系河川整備計画アンケート調査結果(自由意見)

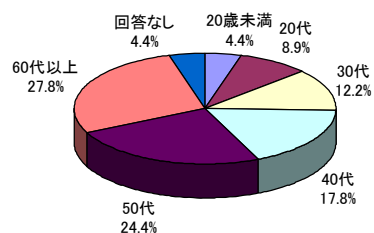
No	お住まい	分類	この資料に関心を持ったこと、山国川河川整備計画に関するご意見など	事務所からの回答
4-80	中津市(旧中津市)	環境・景観	山国川を観て私自身綺麗な川とは思いません。なぜなら堰が多く自然の景観が感じられないし、水は汚いし、ゴミは沈んでいるし「汚い川」としか目に映りません。他の都道府県の綺麗な川と比べると一目瞭然です!!	平成19年の九州地方一級河川20水系の水質調査結果においても山国川は7番目であり、他の河川に比べて決して水質が悪いということはありません。ゴミ対策は流域全体の問題であり、川に流れ込むゴミを減らすには流域の方々の協力が不可欠であります。また、山国川をはじめ、川の中には川の水を取るための堰が多く設置してあります。堰から取られた水は、稲作、上水道、工業用水などに使われ、みなさんの生活をささえています。 【整備計画(案) 32、63ページ参照】
4-81	中津市(旧中津市)	環境・景観	余りコンクリートで護岸せず、コンクリートでも中空とか空間のあるブロックによる護岸造りを検討して欲しい。	治水については住民の方々の安全を配慮して実施していきますが、施工に当たっては、現在の山国川の環境や景観に配慮した施工を行っていきます。【整備計画(案) 52頁参照】
4-82	上毛町(旧新吉富村)	環境・景観	中津から耶馬溪までほんとうにいいです。この自然豊かな河川を開発することなく自然のまま皆が楽しめる河川作りにはげんで下さい。ほんとうにこのままを大切に!	治水については住民の方々の安全を配慮して実施していきますが、施工に当たっては、現在の山国川の環境や景観に配慮した施工を行っていきます。【整備計画(案) 52頁参照】
4-83	中津市(旧中津市)	環境・景観	出来る限り天然護岸を残すこと。建設ブロックも中空等のものを使用	治水については住民の方々の安全を配慮して実施していきますが、施工に当たっては、現在の山国川の環境や景観に配慮した施工を行っていきます。【整備計画(案) 52頁参照】
4-84	回答なし	環境・景観	山国川流域は耶馬国定公園にあり溪谷と豊かな清流とがあいまって山紫水明の美しい景観を表せている。この風景を末永く保つためにも官民一体となった取り組みが何よりも不可欠である。	治水については住民の方々の安全を配慮して実施していきますが、施工に当たっては、現在の山国川の環境や景観に配慮した施工を行っていきます。【整備計画(案) 52頁参照】
4-85	回答なし	環境・景観	河川沿いに生い茂る雑木が山紫水明の水面が観える様に伐採するように努力していただきたい。	河川の自然環境を守るため、洪水を阻害する場合など、必要最小限の伐採に留めております。ただ地域からの要望(防犯、防火対策、景観上の観点など)については、必要に応じて対応していく予定です。【整備計画(案) 52頁参照】
4-86	回答なし	環境・景観	洪水時度に、至るところに流木が堆積しており景観そぐわないので搬出すべきではないか。(通年予算処置)	関係機関とも連携し、処理につとめます。 【整備計画(案) 63頁参照】

# 山国川水系河川整備計画アンケート調査 集計表

(平成20年12月～平成21年1月：回答数90)

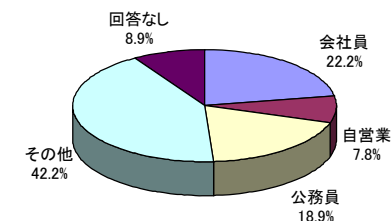
## ●年代

選択肢	回答数	割合(%)
20歳未満	4	4.4
20代	8	8.9
30代	11	12.2
40代	16	17.8
50代	22	24.4
60代以上	25	27.8
回答なし	4	4.4
累 計	90	—



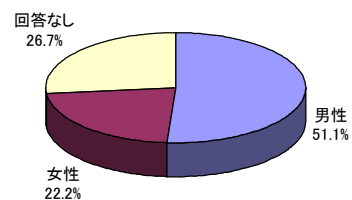
## ●職業

選択肢	回答数	割合(%)
会社員	20	22.2
自営業	7	7.8
公務員	17	18.9
その他	38	42.2
回答なし	8	8.9
累 計	90	—



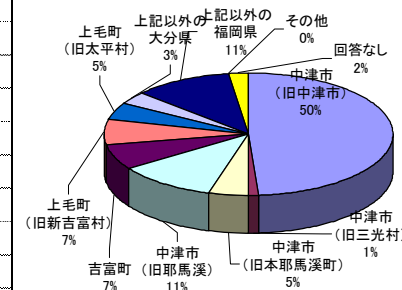
## ●性別

選択肢	回答数	割合(%)
男性	46	51.1
女性	20	22.2
回答なし	24	26.7
累 計	90	—



## ●お住まい

選択肢	回答数	割合(%)
中津市(旧中津市)	44	48.9
中津市(旧三光村)	1	1.1
中津市(旧本耶馬溪町)	4	4.4
中津市(旧耶馬溪)	10	11.1
吉富町	6	6.7
上毛町(旧新吉富村)	6	6.7
上毛町(旧太平村)	4	4.4
上記以外の大分県	3	3.3
上記以外の福岡県	10	11.1
その他	0	0.0
回答なし	2	2.2
累 計	90	—

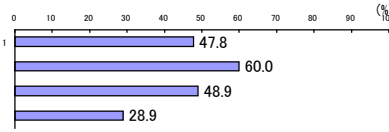


# 山国川水系河川整備計画アンケート調査 集計表

(平成20年12月～平成21年1月：回答数90)

【問-1】山国川について、どのような川づくりを望みますか。

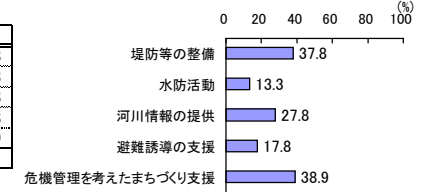
選択肢	回答数	割合(%)
安全・安心で水害のない川づくり	43	47.8
瀬や淵があり自然の流れがある、緑豊かな川づくり	54	60.0
水遊びや散歩など憩いの水辺があり楽しめる川	44	48.9
山国川の歴史・文化に根ざした川づくり	26	28.9
集計数	90	—



【問-2】山国川を更に魅力ある河川にするために、何をすべきだと思いますか。(細分類)

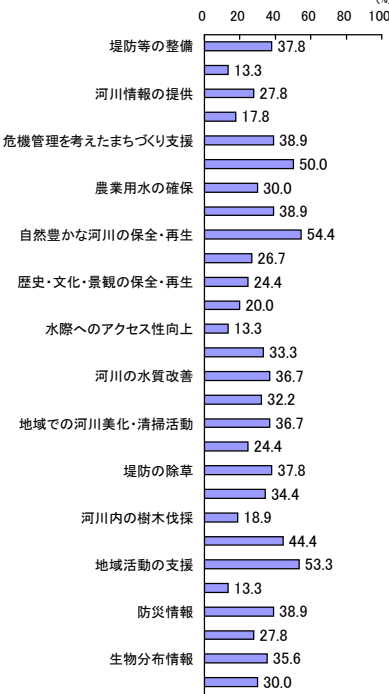
## ●災害対策

選択肢	回答数	割合(%)
堤防等の整備	34	37.8
水防活動	12	13.3
河川情報の提供	25	27.8
避難誘導の支援	16	17.8
危機管理を考えたまちづくり支援	35	38.9
集計数	90	—



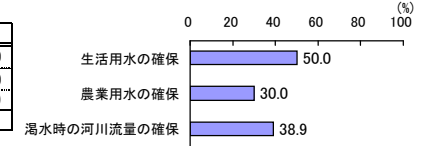
【問-2】山国川を更に魅力ある河川にするために、何をすべきだと思いますか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合(%)
堤防等の整備	34	37.8
水防活動	12	13.3
河川情報の提供	25	27.8
避難誘導の支援	16	17.8
危機管理を考えたまちづくり支援	35	38.9
生活用水の確保	45	50.0
農業用水の確保	27	30.0
渇水時の河川流量の確保	35	38.9
自然豊かな河川の保全・再生	49	54.4
河川公園・親水施設の整備	24	26.7
歴史・文化・景観の保全・再生	22	24.4
堰等における魚道の設置	18	20.0
水際へのアクセス性向上	12	13.3
自然体験や環境学習の拠点整備	30	33.3
河川の水質改善	33	36.7
不法投棄取締りの強化	29	32.2
地域での河川美化・清掃活動	33	36.7
老朽施設の維持・更新	22	24.4
堤防の除草	34	37.8
河川内に堆積した土砂の撤去	31	34.4
河川内の樹木伐採	17	18.9
流域全体の交流促進	40	44.4
地域活動の支援	48	53.3
堤防整備等状況	12	13.3
防災情報	35	38.9
利活用拠点情報	25	27.8
生物分布情報	32	35.6
歴史・文化関係情報	27	30.0
集計数	90	—



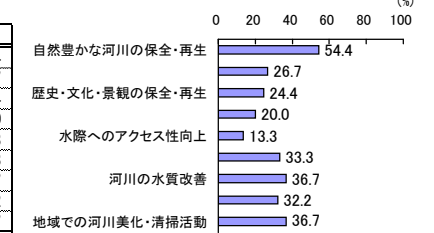
## ●水利用

選択肢	回答数	割合(%)
生活用水の確保	45	50.0
農業用水の確保	27	30.0
渇水時の河川流量の確保	35	38.9
集計数	90	—



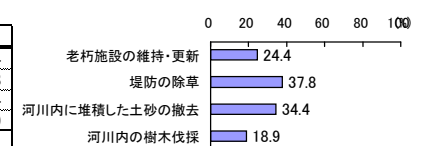
## ●環境①

選択肢	回答数	割合(%)
自然豊かな河川の保全・再生	49	54.4
河川公園・親水施設の整備	24	26.7
歴史・文化・景観の保全・再生	22	24.4
堰等における魚道の設置	18	20.0
水際へのアクセス性向上	12	13.3
自然体験や環境学習の拠点整備	30	33.3
河川の水質改善	33	36.7
不法投棄取締りの強化	29	32.2
地域での河川美化・清掃活動	33	36.7
集計数	90	—



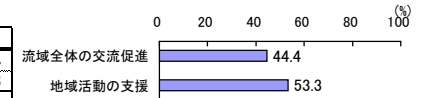
## ●維持管理

選択肢	回答数	割合(%)
老朽施設の維持・更新	22	24.4
堤防の除草	34	37.8
河川内に堆積した土砂の撤去	31	34.4
河川内の樹木伐採	17	18.9
集計数	90	—



## ●地域連携

選択肢	回答数	割合(%)
流域全体の交流促進	40	44.4
地域活動の支援	48	53.3
集計数	90	—



## ●情報発信

選択肢	回答数	割合(%)
堤防整備等状況	12	13.3
防災情報	35	38.9
利活用拠点情報	25	27.8
生物分布情報	32	35.6
歴史・文化関係情報	27	30.0
集計数	90	—

